

電力需給逼迫に対する当面の対応について

1. 関西電力に対して、あらゆる事態を想定し、電力需要の抑制や供給力確保のための具体的対策を早急に講じるよう求めるとともに、こうした努力を効果的に実行するため、関西広域連合が派遣する専門家等によるアドバイスや検証を受け入れるよう求める。(別紙)
2. 関西広域連合として、電力需要の抑制を図るため、大口需要家等が節電対策や電力確保対策を積極的に講じていくためのインセンティブを早急に検討する。

関西電力の電力需給対策等に関する検証のしくみ

<要旨>

関西電力に対して、

- ① 需要抑制対策、電力供給確保対策等あらゆる対策を講じるよう求め、
- ② その取組の妥当性や有効性について、関西電力に専門家を派遣して検証する

ことにより、電力需給見通しや電力需給対策に関して、関西広域連合として説明責任を果たす。

○必要性

- ・ 電力需給状況について、事業者の提出資料だけで判断するのではなく、中立的で公平にこれを点検することが必要。【平成24年4月17日 山田京都府知事及び嘉田滋賀県知事による「国民的理解のための原発政策への提言」】
- ・ 国においては、今夏の電力需給見通しを客観的に確認・検証するため、4月19日、エネルギー・環境会議の下に「需給検証委員会」を設置し、同月23日に第1回を開催。
- ・ 国の対応は一定評価されるが、関西広域連合としても、関西電力に専門家を送り込み、電力需給見通しの策定や具体的な対策に関してアドバイスや検証を行わせることにより客観性・信頼性を確保していくことが必要。

○体制（案）

